

今月の

5冊



**精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときまず読む本**  
“横綱級”困難ケースにしないための技と型

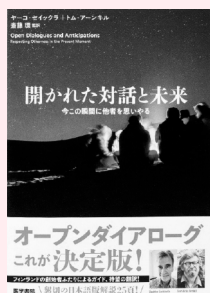
小瀬古伸幸=著  
本体2000円+税  
医学書院 ☎03-3817-5657

横綱級困難ケースとは、自分をもつ高いエネルギーの向けどころがわからず試行錯誤している人のこと。本書は、そうしたケースで支援者が直面する対人関係的な困難さ乗り越え、利用者を自立・卒業へ導くためのノウハウを紹介。長年の訪問看護で培われた、相手を横綱級にしないための技と型を具体的に解説する。在宅時代に必須のテキスト。

## 開かれた対話と未来

今この瞬間に他者を思いやる

ヤーコ・セイクラ、トム・アーンキル=著  
斎藤環=監訳  
本体2700円+税  
医学書院 ☎03-3817-5657



「対話が目的」の対話？ オープンダイアログのこの不思議な設定が、いま対人援助の世界を大きく揺るがせている。その創始者がオープンダイアログの謎を解き、具体的方法をわかりやすく紹介した決定版の待望の翻訳が本書。巻頭には斎藤環氏による懇切丁寧な日本語版解説、巻末にはすぐに使える「対話実践のガイドライン」を完全収録。

## 必携！

**認知症の人にやさしいマンションガイド**  
多職種連携からみる高齢者の理解とコミュニケーション

日本意思決定支援推進機構=監修  
本体1600円+税  
クリエイツかもがわ ☎075-661-5741



マンションの居住者の高齢化が進み、認知症に関わるトラブルも増加している。本書では、そんなマンションでの「困りごと」事例を紹介し、認知症患者にもやさしいマンション環境をどう築いていくかについて、認知症問題の専門家とマンション管理の専門家が、知恵や情報を提供する。

## 倫理コンサルテーション ハンドブック

堂園俊彦=編著  
本体3500円+税  
医歯薬出版 ☎03-5395-7640

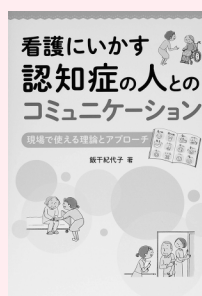


医療やケアの現場で生じるさまざまな倫理的問題。その解決を支援する方法として活用が進む「倫理コンサルテーション」の導入、実施、評価の方法を、日本の現状に即しながら紹介する。医師、看護師、倫理学者に加え、法律家の知見も網羅しており、医療現場において実践的に活用できる内容となっている。

## 看護にいかす

**認知症の人とのコミュニケーション**  
現場で使える理論とアプローチ

飯干紀代子=著  
本体2200円+税  
中央法規 ☎03-3834-5817



認知症患者への対応において、困難を感じている看護師は多い。本書では、認知症患者とのコミュニケーションの方法について、基礎となる理論や科学的根拠を提示するとともに、場面別に対処法を解説する。また、看護師自身のストレスマネジメントについても紹介するなど、「現場で使える」情報が満載。